

全国バイオディーゼル燃料利用推進協議会 2023 年度事業報告

1 総会

(1) 第 18 回総会

2023 年度の総会は 6 月 19 日(月) 13 時 00 分～14 時 00 分に対面とオンラインのハイブリッドにて開催した。オンラインでの参加者は議決権が無効となるため、審議事項のみ 5 月 16 日(火)～6 月 12 日(月)の期間に文書審議により実施した。正会員 54 会員のうち、過半数を超える 40 会員からの回答を得られ、2022 年度の事業報告、収支決算報告、役員改選、2023 年度の活動計画及び収支予算が承認された。

- (主な議案) 第 1 号議案：2022 年度事業報告
第 2 号議案：2022 年度収支決算及び監査報告
第 3 号議案：役員改選
第 4 号議案：2023 年度事業計画
第 5 号議案：2023 年度収支予算

(主な結果) 各号議案別に、意見及び質問の確認をした上で採決し、それぞれ提案のとおり承認された。

※ 文書審議の結果は、総会当日に報告するとともに、後日全会員へ電子メールで通知し、ホームページ上で公開した。

2 幹事会

(1) 第 45 回：4 月 21 日(金) 10 時 00 分～12 時 00 分(オンライン)

総会に提出する 2022 年度の報告、2023 年度の事業計画についての検討・確認を中心に議論し、第 18 回総会の開催方法については、対面とオンラインのハイブリッド開催とし、審議事項については事前文書審議とすることに決定した。その他、「バイオディーゼル燃料の製造・利用に係るガイドライン」の大幅改正について、周知や PR の必要性和、一般社団法人日本建設業連合会(以下、日建連と省略)との連携や意見交換会の開催について検討した。

- (主な議事) 1. 2022 年度の活動について
(1) 事業報告(案)
(2) 収支決算(案)
2. 2023 年度の活動について
(1) 役員改選
(2) 事業計画(案)

(3) 収支予算(案)

3. 第18回総会・講演会の開催について(開催日程および内容)
4. 表彰について

(2) 第46回:3月7日(木)10時00分~12時00分(会場/オンライン)

2023年度の事業中間報告のほか、2024年度の事業計画について検討した。その他、「バイオディーゼル燃料の製造・利用に係るガイドライン」一部改正と、2023年度の実態調査結果の内容について確認し、公表内容を確定した。

- (主な議事)
1. 2023年度事業中間報告
 2. 2024年度事業計画(案)
 3. 2023年度バイオディーゼル燃料取組実態等調査結果
 4. 「バイオディーゼル燃料の製造・利用に係るガイドライン」一部改正について(品質確認制度運用委員会より)
 5. その他情報交換等

3 監査

2022年度会計監査を5月8日(月)、5月12日(金)にそれぞれ、対面またはオンラインで実施した。監査結果については、第18回総会にて報告を行った。

4 専門委員会

(1) 企画実行委員会

2023年度は委員会開催には至らなかった。

(2) 品質確認制度運用委員会

2023年度の分析機関と費用が設定されたことにより、4月6日(木)から分析受付を開始し、協議会規格(全項目)8件、モニタリング規格10件、特定項目1件の依頼があった。2023年度の特徴としては、例年は3件程度であった全項目分析の依頼が大きく増えたことが挙げられる。

その他、2022年度に大幅改正を行った「バイオディーゼル燃料の製造・利用に係るガイドライン」については、周知やPRをするとともに、2023年度にも本委員会を設置し、一部改正のための検討を行った。

①第1回品質確認制度運用委員会(オンラインにて開催)

日 時:2024年1月17日(水)10時00分~12時00分

出席者:委員4名、オブザーバー1名、事務局4名

- (主な議事)
1. 本年度の委員会開催に関する経緯
 2. 厚生労働省 食品、添加物等の規格基準
 3. 当初ガイドラインにおける酸価5.0の根拠資料①~③
 4. 原料の廃食用油に関する改正(案)及び留意点

5. その他情報交換等

(3) 用途拡大委員会

2023年度は委員会開催には至らなかった。

5 調査・行事等

(1) バイオディーゼル燃料取組実態等調査の実施

2023年6月～9月にかけて、バイオディーゼル燃料に取り組んでいる事業者(会員以外を含む)を対象に、2022年度(2022年4月1日～2023年3月31日)の取組実績について調査を実施し、108事業者から回答を得た。集計した結果、バイオディーゼル燃料の製造量は、前年から減少していた。調査対象期間の2022年度はSAF原料等への需要拡大に伴い、廃食用油の価格高騰によるコストの大幅な増加により製造中止を余儀なくされた事業者もあり、これらがバイオディーゼル燃料の製造量減少の要因の一つと考えられる。

取りまとめた本調査の結果は、農林水産省及び資源エネルギー庁へ結果を提出するとともに、後述する日建連との意見交換会の資料にも使用した。

(2) 講演会

6月19日(月)の総会の後に、対面とオンラインのハイブリッドで講演会を開催し、会場参加は50名、オンライン参加は61名であった。講演会プログラムは下記のように実施した。また、講演会終了後は同会場にて立食形式の交流会を開催した。

14:10-14:50:「セイコーフレッシュフーズのBDFの取組みについて」

講師: 堤 豪気 氏 (株式会社セイコーフレッシュフーズ)

14:50-15:40:「バイオディーゼル燃料における国の最新施策動向」

講師: 環境省 水・大気環境局 自動車環境対策課

課長補佐 須山 友貴氏

国土交通省 大臣官房 参事官 イノベーショングループ

施工企画室 課長補佐 中根 亨氏

15:50-17:00:「『バイオディーゼル燃料の製造・利用に係るガイドライン』

における改正のポイントと品質について」

講師: 滋賀県立大学 工学部教授 山根 浩二氏

(3) 意見交換会

9月12日(火)に日建連とのバイオディーゼル燃料の製造・利用に係る合同意見交換会を開催した。日建連からは12名、協議会からは14名、オブザーバー企業3

名、省庁のオブザーバー4名、事務局4名の出席があった。

日 時：2023年9月12日(火) 15時00分～17時30分

場 所：馬事畜産会館2階大会議室

議 事：1. 共有する情報

- (1) 建設現場におけるCO₂削減目標・手段
- (2) バイオディーゼル燃料の製造コスト
- (3) バイオディーゼル燃料の供給
- (4) その他(現行ルール,SAF 動向,ガイドラインなど)

2. 意見交換するテーマ

- (1) バイオディーゼル燃料の調達・利用及び製造・供給の課題
- (2) バイオディーゼル燃料の利用拡大の方策



6 その他

(1) ホームページの運用等

協議会のホームページ内に2022年度から「活用事例集」のページを設けており、メールニュースで配信している取組事例紹介を、ホームページ上でも公開している。その他、ホームページを通じて各種情報発信を行った。

(2) 相談室業務等

バイオディーゼル燃料化事業の円滑な普及・発展を図るため、本協議会に設置した相談室への問い合わせの電話、メール相談や面談等に対応した。

内容としては、会員か非会員かに関わらず、バイオディーゼル燃料に関する様々な相談があった。一例として、需給関係、法令関係、技術的問題、船舶利用のヒアリング、市場予測、品質管理、CO₂削減効果等多岐にわたる相談があった。

(3) 情報の発信(メールニュース・事例紹介)

毎月1回会員向けのメールニュースを発信し、バイオディーゼル燃料に関する

る最新情報や、会員の取組事例を紹介した。

- ・メールニュース：4/6、5/2、6/7、7/7、8/16、9/14、10/10、11/14、12/1、12/15、1/9、2/16、3/7
- ・事例紹介（No.19～No.24）
- ・協議会の公式Instagramアカウントを不定期に更新した。